

2014年3月27日

日本マニファクチャリングサービス株式会社
パナソニック株式会社

一般電源事業の譲受に関する基本合意について

本日、日本マニファクチャリングサービス株式会社（以下、「nms」）とパナソニック株式会社（以下、「パナソニック」）は、パナソニックの車載向けを除く電源および電源関連部品（高圧電源、低圧電源、マグネットロール、トランス等）の開発・製造・販売に関する事業（以下、「一般電源事業」）を、nms のグループ会社に譲渡することについて基本合意いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、nms とパナソニックは、今後具体的な検討を進め、すみやかに最終契約書の締結を目指してまいります。

I. 本件の背景および目的

nms は、日本のモノづくりを支える企業として、日本、中国、アセアン諸国において人材ビジネス事業と EMS 事業の融合によるトータルソリューションサービス(neo EMS)を展開しております。今後は、アジアにおけるグローバルなコスト競争に勝ち抜くため、グループが提供するサービスのさらなる高付加価値化が重要と考えております。そのため、2013年には株式会社日立メディアエレクトロニクスより電源事業を含む一部事業を譲り受け、この度、その分野を強化すべくパナソニックの一般電源事業を譲り受けることとなりました。これにより、nms は、電源および電源関連分野を当社グループのキーテクノロジー分野と定義し、その技術力を高めると同時に、電源および電源関連メーカー機能と EMS 機能を有し、これら両方の市場にサービスを提供することで事業を拡大してまいります。

パナソニックの電源事業は、これまでに世界中のお客様に対して、OA 機器、車載、AV 機器向け等に幅広く、電源および電源関連部品をご提供してきました。今後、競争環境のさらなる激化が想定される中、このうち、一般電源事業については、本譲渡を通じて nms グループ傘下での新たな事業展開を図ります。他方、パナソニックにおける電源事業は、車載向けを中心に事業の選択と集中を進め、さらなる成長を目指してまいります。

II. 基本合意の内容

両社の基本合意事項の要旨は、以下のとおりです。

- (1) パナソニックは、国内（三重県松阪市）の一般電源事業を nms のグループ会社に会社分割（簡易吸収分割、以下「本吸収分割」）により譲渡する。
- (2) 円滑な事業移行をサポートするため、パナソニックは譲渡先である nms のグループ会社に対し15%未満の出資を行う。

- (3) 本吸収分割により、当該事業に従事する社員は nms のグループ会社への出向とする。
- (4) パナソニックは、本吸収分割のほか、当該事業を担当している中国・広東省および香港の海外2拠点の事業もそれぞれ nms の海外グループ会社に譲渡する。

Ⅲ. 今後の見通し

今後は、最終契約書の締結に向けて両社で協議を進めてまいります。譲受は最終契約書の定めに従って実施することとなり、現時点では、2014年10月を予定しております。

以 上

【お問い合わせ先】

日本マニュファクチャリングサービス株式会社
コーポレート本部 経営管理部 広報 IR グループ
TEL:03-5333-1711

パナソニック株式会社
ブランドコミュニケーション本部 広報グループ
TEL:06-6908-0447(大阪)／03-3574-5661(東京)